

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立吉田中学校

部活動を通じた地域連携

～地域移行に伴う部活動指導員との連携、外部指導者との連携～

1. 目的と経緯

本校では現在、17の常設部と6の季節部による部活動を行っている。これまで、バスケットボール、ラグビー、スケート、吹奏楽、茶道などの各部で、地域の外部指導者を招き、専門的な知見を取り入れた活動を展開してきた。外部指導者には、市の「部活動スポーツ指導者派遣事業」や「講師派遣事業」として活動指導していただいた。

一方、R3年度から新設されたスポーツ庁「地域運動部活動推進事業」により、休日の部活動の段階的な地域移行、合理的で効率的な部活動を推進することになり、R5年度以降に運動部活動が地域へ移行するための取り組みが、本市でも行われてきた。

本校では、それまで外部指導者を務められてきた方から「部活動指導員」を依頼する運びとなり、R5年度はスケート部と吹奏楽部に1名ずつ市で任用していただいた。また、茶道部では市の講師派遣事業で講師を依頼、柔道ではボランティアでコーチを依頼するなど、部活動を通じた地域連携を図っている。



2. 内容

部活動指導を依頼している地域の外部指導者（R5年度）

| | 外部指導者の立場・任用形態など | 所在地 | 指導時間見込 |
|-------|------------------------|-----|---------------------|
| スケート部 | 部活動指導員（市会計年度任用職員） | 市内 | 冬季 80 時間 + α |
| 吹奏楽部 | 部活動指導員（市会計年度任用職員） | 市内 | 年間約 160 時間 |
| ラグビー部 | 外部指導員（市部活動スポーツ指導者派遣事業） | 市内 | 4～8月約 60 時間 |
| 茶道部 | 講師（市講師派遣事業） | 市内 | 年間約 10 回 |
| 柔道部 | コーチ（ボランティア、小学校教諭） | 市内 | 月 2 回程度 + 大会 |

3. 成果と課題

- ・顧問教師では指導が難しい活動や実技・実習において、専門的な指導者による指導は有効であると言える。生徒の学びが広がり、楽しさを感じている様子も見られた。
- ・国の提言にあるように、少子化の中でも将来にわたりスポーツに継続して親しむ機会を確保すると共に学校の働き方改革も目指していくという、現段階の動きができた。
- ・課題として、顧問教師と外部指導者との指導方法等の共通理解、持続的な指導者の確保と開拓、任用手続きや勤務実績処理の効率化などが挙げられる。

